



碧南ロータリークラブ週報

第2815回例会 平成29年3月1日(水)

- 会長 榊原 健
- 幹事 新美 惣英
- 会場監督(SAA) 黒田 泰弘

2016-2017 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp



- 会報委員 杉浦秀延・貝田隆彦・梶川光宏

●齊 唱

国歌「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」

●四つのテスト唱和

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

愛知県環境部自然環境課 課長補佐 佐橋順子氏
地区社会奉仕委員会 副委員長 杉浦文雄氏
" " 井口貴嗣氏

●本日の卓上花

スイートピー、桃

会 長 挨拶

皆さん、こんにちは。先週1週間、職業奉仕活動ご苦労様でございました。

先週の土曜日にIMが行われました。多数のロータリアンの皆さんに参加して頂きまして、ありがとうございました。それから、3月5日に第44回碧南市民駅伝が行われますけども、ロータリークラブからもご支援頂きまして、ありがとうございます。

先週のクイズの答えですけども、日清製粉が正田美智子さんの在所でございます。

今週はタイトなスケジュールになっておりますので、挨拶はこれだけにさせて頂いてクイ



榊原 健会長

ズを出させていただきます。ウォンバットのうんこはどんな形をしているのでしょうか。
どうぞよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 他クラブの例会変更はございません。
- ・ ローターレートも 116 円で変わっておりません。
- ・ 会長の席の前に愛知県共同募金会から感謝状が届いておりますので、ご披露申し上げます。
- ・ 皆様のお手元に会員名簿に貼る篠田さんのシールが届いていると思いますので、お貼りくださいますよう、お願い申し上げます。
- ・ 名古屋北 RC 様より、第 2760 地区第 7 回フォト俳句展への作品出展についてのご依頼がございませす。参加費が出展 1 点につき 7,000 円になりますので、よろしくお願い申し上げます。



新美惣英幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励委員会>

総会員数 69 名 (内出席免除者 17 名の内出席者 12 名)出席者 61 名	
出席対象者 61/64 名	出席率 95.31%
欠席者 8 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※十週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

地区社会奉仕委員会 副委員長 杉浦文雄様 (刈谷 RC) 本日、卓話でお世話になります。

地区社会奉仕委員会 副委員長 井口貴嗣様 (豊橋 RC) 本日の卓話者の佐橋様を紹介

させていただきます。

榊原 健君 } 2月25日、西三河分区 I. Mに多数御出席戴きました。ありがとうございました。

岡本 明弘君 }

新美 惣英君 }

山中 寛三君 }

小笠原良治君 }

知立の会長も喜んでいらっしゃいました。

先週インターシティー・ミーティング欠席しましたので。

今日は花をもらいに出席しました。自分の分はどうでもいいですが、毎年の事ですが愛妻の分がとてうれしいです。

昨日は、大正館様に大変お世話に成りました。ひさしぶりに酒席がつづき、酒のおいしさを、再、再確認したしだいです。もちろんおいしい料理があったからです!!ひまな人がいたら、さそって下さい!!現金をたくさん用意して待っています。

新美 惣英様 日頃の行いが良すぎて、先週はインフルエンザと痛風を併発してしまい、I. Mではご迷惑をおかけしました。まだ右足首が痛く、歩行困難ですがガンバリマス。

鶴田 光久君 本日の卓話講師 佐橋順子様を紹介させていただきます。

山中 寛紀君 J 2降格のグランパス、リーグ初戦勝利でき、ホッとしています。何とか1年ガンバって来年度J 1への復帰を願っています。

黒田 泰弘君 昨日、おふくろと二人で素敵な金婚式に参加させて頂きました。

鈴木 泰博君 先日は鈴木並生様に変にお世話になり、ありがとうございました。

杉浦 秀延君 2月24日(金)藤井達吉美術館で開催中の「碧南の医人展」に長野県岡谷市より郷土学習館の鈴木館長以下43名のお客様がお越しになられました。西暦2000年に始まりました交流も17年目にして念願がかないました。医聖永田徳本様に合掌、感謝します。

3月1日、本日愛知県立碧南工業高等学校の卒業式に出席しました。卒業してちょうど40年の月日が経過し、今度は若人の門出をお祝いする立場になりました。

あついものづくり愛知県立碧南工業高等学校後援会は、3月3日開催ものづくりフェア in 碧南2017碧南づくりに出展します。今回、アイシン・エイ・ダブリュ株式会社様の全面応援をいただき、超精度1,000分の1ミリ精度加工する神の手を持つ、厚生労働大臣表彰現代の名工、佐藤、鈴木氏ご両名が展示ブースのアテンダーに立っていただき、皆様に職人の技をご披露致しますので、皆様のお越しをお待ちします。ちなみに不器用な私は案内係にてうろうろしておりますので、お気軽にお声を掛けて下さい。

<親睦活動委員会>

会員誕生日

2日 杉浦 保子君 15日 小笠原良治君(古希)
 16日 黒田 泰弘君 20日 平松 太君 22日 栗津 康之君

奥様誕生日

7日 篠田 由男君の奥様 麻希様 9日 西脇 博正君の奥様 京子様
 12日 一柳 成君の奥様 策子様 24日 小笠原良治君の奥様 恵子様
 29日 大竹 密貴君の奥様 弥生様

結婚記念日

16日 長田 和徳君・真由美様 26年 20日 平岩 辰之君・範江様 34年
 27日 加藤丈太郎君・美恵子様 54年

入会記念日

- 3日 杉浦 保子君、鈴木 宏枝君
- 4日 一柳 成君
- 5日 山中 寛三君
- 11日 石川 春久君
- 15日 平岩統一郎君
- 18日 鈴木 並生君
- 23日 鈴木きよみ君

クラブフォーラム

「あいち生物多様性戦略2020について」

愛知県環境部自然環境課 課長補佐 佐橋順子氏



佐橋順子氏

皆様、こんにちは。愛知県環境部自然環境課の佐橋と申します。今日は皆様の貴重なお時間を頂きまして、誠にありがとうございます。それでは、碧南市のゆるキャラのしょうぶと一緒に話を進めさせて頂きたいと思います。

生物多様性というのは、その名の通り生きものたちの豊かな個性とそのつながりを意味する訳ですが、この多様性には生態系の多様性、種の多様性、遺伝子の多様性の3つの層があると言われております。生態系の多様性とは、サンゴ礁や湿原や河川などの様々な自然があるということでございます。種の多様性とは、カメや植物や魚など色々な生きものがあるということでございます。遺伝子の多様性とは、ゲンジボタルの発行周期が違う、アサリの貝殻の模様が違うなど、同じ種類でも個性があるということでございます。生きもの多様性を守っていくためには、その生活環境である生態系も遺伝子レベルで守っていかなくてはならないと考えております。

この地球上には動物や植物、微生物を含めて色々な生きものがおります。その生きものを分類する最も小さな単位を「種」と言いますが、今わかっているもので約175万種、未知のものを含めると数千万種存在しているのではないかと考えております。この種それぞれは進化の過程で生き延びてきた訳で、それぞれ固有の価値があると考えております。こうした生きもの種類の内、絶滅種や絶滅の恐れがある種をリスト化したものを「レッドリスト」というふうに呼んでおります。種の多様性を失ってはいけない理由としまして、未知の種には多くの可能性があり、こうした種が絶滅することは人類の未来を失うことになり兼ねないというふうに考えております。

生態系の恩恵なしでは私たちの生活は成り立ちませんし、恩恵である資源を調達できなくなれば企業活動も危ぶまれるということになります。私たちは生物多様性によって支えられておりまして、私たちも生物多様性の一部です。ですので、私たち自身が生存していくためにも、色々な生物が存在して生態系をバランス良く維持していくために生物の多様性を守

っていくことが必要ということでございます。こうしたことから、生物多様性を守る取り組みを地球規模でやっていかななくてはならないということが認識され、1992年に生物多様性条約というものが作られました。この条約を結んでいる国々が集まりまして、話し合いを行う会議をCOP（Conference of the Parties）と呼んでおります。この会議は2年1回行われておりまして、2010年の第10回目には愛知県で開催されました。ここで2020年に向けた世界の目標ということで愛知目標というのが採択されました。「自然と共生する世界」を長期目標としまして、2020年までに「生物多様性の損失を止めるために効果的かつ緊急な行動を実施する」を短期目標として、その実現のために5つの戦略目標と20の個別目標を掲げております。地方自治体の立場から愛知目標達成に貢献するために「あいち生物多様性戦略 2020」を策定致しました。この戦略の中で2つの大きな柱を「あいち方式」と呼びまして、中核的な取り組みに位置付けております。この戦略が目指しているのが、生態系ネットワークの形成です。これは「人と自然の共生するあいち」の実現を目標に人間による土地利用の中にも、緑地や水辺で野生の生き物たちが生息・生育する拠点や移動経路を確保しようとするものです。



生態系ネットワークの形成には、土地の所有者の理解と生物学（生態学）的な知識、そして生物多様性を保全する熱意とが一体になることが不可欠です。県では、大学、NPO、企業、行政などが互いに連携・協働する生態系ネットワーク協議会の設立を県内9地域で進めてきました。昨年11月に第9番目となる尾張西部生態系ネットワーク協議会が設立され、県全域をカバーする体制が整いました。各協議会では、あいち森と緑づくり事業交付金などを利用して、外来種の駆除などの環境保全活動や水辺や森のビオトープづくりなどに取り組んでおります。

碧南市は平成28年2月に設立された西三河南部生態系ネットワーク協議会に入っております。碧南市の他に西尾市と高浜市が対象エリアになります。テーマは「きらきら光る 碧い海」～西三河沿岸が育む生きものたちのつながり～です。協議会では、地域の自然や生物多様性を知って頂くため、今年度は地域の学校や企業様と協力しながら、「生きもの調査・外来種駆除活動」、「ビオトープ学習会」、「生態系ネットワーク形成フォーラム」を開催しました。来年度は矢作川河川敷で、碧南・西尾両市合同での「オオキンケイギク駆除活動」、佐久島での「磯の学習会」、高浜市での「フォーラム」、碧南海浜水族館での「ビオトープ整



備」などに取り組む予定です。

皆様のような社会を代表する方々が、生物多様性に配慮した活動をして頂きますと、その効果が社会全体への貢献にもつながり、愛知目標達成につながることは間違いないと思います。是非この碧南の力で生物多様性の輪が広がっていくことを期待しまして、私からの話を終わらせて頂きたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。

次回例会案内

平成29年3月15日（水） 卓話「仕事を振り返って」
（公社）刈谷法人会 専務理事 平野太洋氏